

令和7年度 課長方針 検証

部課	教育部 教育総務課	課長	白鳥 幸男
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の円滑な運営に努める。 ・貸付金の適正な管理に努める。 ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、事務事業の点検評価を実施する。 ・学校施設的环境改善と機能の維持向上を図る。 ・常に市民の視点に立ちものごとを考え、行動し、市民から信頼される職員となるよう自己研鑽に努める。 ・業務遂行に当たっては、情報を共有し、相互に協力し合い、課題は職員全員で解決する。 ・蕨市を愛し、市民とともによりよいまちをつくらうとする気持ちを大事にする。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
入園・入学資金の貸し付け	審査委員会において資格等を審査し、学校種別ごとに条例で定める額の範囲で貸し付けを行うとともに、返還金を管理する。	貸し付けのみならず、相談業務も充実を図り、経済的な理由により支払いが困難な保護者への支援を多面的に進める。また、返還金の適正な管理に努め、収納率の向上を目指す。	○	より多くの人に制度について知っていただくために、市ホームページや広報紙、教育総務課作成のポスター・チラシ、行政広報番組などを通じて、周知を図った。返還については、口座振替の勧奨を行うとともに、滞納対策として、電話相談及び専用封筒での督促などのほか、臨宅訪問を行い、滞納債権の削減に努めた。
奨学金の貸与	選考委員会において資格等を審査し、学校種別ごとに条例で定める額を貸与するとともに、返還金を管理する。	貸与のみならず、相談業務も充実を図り、経済的な理由により修学が困難な者への支援を多面的に進める。また、返還金の適正な管理に努め、収納率の向上を目指す。	○	より多くの人に制度について知っていただくために、市ホームページや広報紙、教育総務課作成のポスター・チラシ、行政広報番組などを通じて、周知を図った。返還については、口座振替の勧奨を行うとともに、滞納対策として、電話相談及び専用封筒での督促などのほか、臨宅訪問を行い、滞納債権の削減に努めた。
事務事業の点検評価	事務事業の点検評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表する。	教育委員会の事務事業の管理及び執行の状況を自ら点検評価するとともに外部評価を受け、その結果を今後の施策に活用する。	◎	教育委員会が所管する事業のうち、今年度は18事業について点検評価を実施した。外部評価での意見や助言などを踏まえ、担当部署で改善に取り組んだ。
学校施設改修事業	学校施設的环境改善と機能の維持向上を図るための改修工事を実施する。	トイレ改修工事について、適切に実施する。	◎	全ての事業を、予定通り年度内に完了することができた。
学校施設の適切な維持管理	学校において児童・生徒が安全で快適に過ごせるよう、学校施設の適切な維持管理を実施する。	各学校と協力のうえ、施設の日常的な点検や、非構造部材などの定期的な点検を行い、適切な修繕等により維持管理に努める。	◎	定期的な点検の実施および適切な修繕の実施に努め、施設の安全な維持管理を実施することができた。
学校施設の改修計画等に関する検討	蕨市個別施設計画を踏まえ、今後の施設改修計画に関する検討を進める。	学校施設の長寿命化に関する具体的な計画策定に向けた、基礎調査等について、検討を進める。	○	今後の改修計画について、先進事例や県作成資料などを活用し、調査・研究を進めることができた。基礎調査等について、継続して研究を進めている。

令和7年度 課長方針 検証

部課	教育部 学校教育課	課長	吉岡 雅彦
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<p>【業務】</p> <p>学務係：児童生徒の就学及び扶助、幼稚園無償化、教職員人事等。 指導係：学校教育の指導助言と教職員研修、特別支援教育等に関すること。 学校保健係：児童生徒、教職員の健康管理及び学校環境、安全に関すること。 校医、学校保健会、災害給付等に関すること。</p> <p>(創意)なぜそれをやるのか根拠を問う(なぜの繰り返し3回)。創意の基盤である面白さを追求する。前年度からのマイナーチェンジを常に意識する。 (笑顔)市民や来庁者の立場に立った懇切丁寧な接遇をする。仕事のスモールステップ化で自ら達成感を生み出す。 (協働)市民・子供たちのために他部局課・小中学校への連携を推進する。特に小・中学校には支援と連携で信頼を得る。互いの仕事の長所を指摘・共有し合う。 (効率)仕事内容及びその処理にはプライオリティをつける。 (専門性)常に学び、自らを問い続け、業務の専門性を高める。研修の機会があれば積極的に参加する。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
ICT活用推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想による、学校ICT環境整備に伴い、児童・生徒のICT活用能力の向上を図る。特に教職員の計画的な研修を立案・運営する。 ・タブレット端末の更新。 	大型テレビやタブレット端末の効果的な活用を一層推進するため、ICT支援員やスクールアシスタントを活用した教職員研修を行う。併せて、デジタルシチズンシップ教育の実施に向けた計画を立案する。また、タブレット端末の更新を適正に行う。	◎	共同調達により全児童生徒のタブレット端末の更新を予定通り行った。各学校では、新しい端末を適切に活用し、充実した教育活動を展開している。また、ICT支援員を活用した研修会を複数回行い、教職員のスキルアップにつなげることができた。
教育センター事業	<ul style="list-style-type: none"> 計画的にICT活用研修を実施し、教員のICTによる指導力向上を図る。併せて、教育相談や日本語教育支援体制を充実させるとともに、教職員の研修や学校コーディネートを行う。特に、働き方改革の観点から、オンライン研修を積極的に推進する。 塚越地区日本語特別支援教室の開室。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員のICTを活用した授業力向上のため、ICT活用ワーキンググループによる授業改善案等の諸提案を図る。(各学校では随時研修実施)また、教職員ポータルサイトのさらなる内容の充実を図る。 教育相談(来所・電話相談)や日本語特別支援教育や教職員の研修、学校コーディネートを行い、教育センターの充実を図る。 市費のスクールカウンセラーの導入や日本語支援員の増員及び塚越地区日本語教室の設置に伴い、より充実した支援を図る。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ICT活用ワーキンググループ会議を計画的に実施し、子供たちに身につけさせたい情報活用能力を育成するため、学年ごとの一覧表にまとめた「わらびモデル」の活用促進を図った。 市費カウンセラーを県費カウンセラーと併せて活用することにより、各学校が専門的な助言を受けられる回数が増えた。 東中学校内日本語指導教室(塚越分室)の開設により、東小、塚越小、東中の児童生徒が日本語指導を受けやすくなった。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
外国語教育推進事業	全小中学校に配置した外国語指導助手を活用して、一層の外国語教育の推進をする。 GTEC活用を推進し、生徒の英語力の向上を図る。 動画を活用した国際交流を図る。	外国語指導助手を全小中学校に1名ずつ配置し、外国語活用能力の向上を図る。 中学校2・3年生を対象としたGTECを実施するとともに、昨年度の分析を踏まえ、更なる授業の充実を図る。併せて、引き続き教員研修を実施する。 動画アプリを活用した国際交流の充実を図る。	○	担任や外国語担当教員が主体となり、各学校に1名ずつ配置されている外国語指導助手を活用した授業を行うことができた。また、GTECに係る教員研修を年2回実施し、GTECの結果をふまえた授業展開について研究を深めた。
働き方改革推進事業	各校1名の教員業務支援員の配置を継続し、教員でなくてもできる仕事を遂行することで、教員の働き方改革に資する。	教員の在校時間の縮減や児童・生徒と向き合う時間、授業のための準備時間等を確保する。	○	各学校に1名ずつ配置されている教員業務支援員に対して、配付物や教材の印刷、掲示物の作成と掲示等、以前は教職員が担っていた業務を依頼することにより、教職員の負担軽減となり、小学校、中学校ともに在校等時間の縮減につながった。
「蕨市いじめ防止基本方針」推進事業	「いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた組織的な取り組みをする。	「蕨市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止、早期発見の取組を推進する。特に、児童生徒のICT活用に係るいじめ防止のためのチェック体制を全小・中学校で整える。 併せて、蕨市いじめ未然防止ワーキンググループによる、「蕨市いじめ未然防止プログラム」及び「生活アンケートを用いた実態調査」の検証・改善を推進するとともに、学習指導案・研究授業に係る助言を行う。	○	「いじめ問題対策連絡協議会」「蕨市いじめ未然防止ワーキンググループ」とともに、予定どおりの回数を実施した。プログラムに関しては、学年5コマのプログラムを各学校で実践した。生活アンケートについても適切に取り組み、いじめ未然防止につなげることができた。
幼児教育無償化事業	3～5歳幼稚園児の保護者への利用料の無償化を行う。	3～5歳幼稚園児の保護者への利用料の無償化により、保護者の負担軽減を図る。 併せて、ひかり幼稚園に係る国の施策に対し、適切に対応する。	◎	幼保無償化に係る事務処理を滞りなく実施した。
コミュニティ・スクール事業	東小・塚越小・東中の東中校区、西小・北小・第二中の第二中学校区に加え、南小・第一中の一中校区と中央小・中央東小を単独実施とした、コミュニティ・スクールを推進する。	地域住民等が、学校運営に参画し、信頼関係を深め、小中連携による児童生徒の健全育成を図る。 特に、3校区2単独校の人材バンク登録及び活用の推進を図る。 各校区・単独実施とも、熟議の時間を適切に確保し、地域との連携を図る。	○	中学校区、単独校ともに各地区協議会を3回ずつ実施した。令和7年度は、今後も3校区2単独校で行うか、全ての学校を単独校で行うか検証の年度であったが、現在の区割りが定着してきたことと、校長からのヒアリングにより、当面の間、現行と同じ区割りで行うことにした。
事務の共同実施事業	蕨市立小・中学校の学校経営のより一層の充実を図るとともに、学校事務職員の効率的・効果的な事務処理及び資質向上を図るため、事務の共同実施を推進する。	年間20回程度の事務の共同実施を推進し、昨年度の反省を踏まえ、学校事務職員の資質向上及び業務の正確性の向上を図る。	◎	全事務職員による共同実施全体会と、中学校区ごとによる地区共同実施を開催することにより、諸手当の事務をはじめとする事務全体の効率化と正確性の向上を図ることができた。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
水泳授業の民間委託事業	子供の安全を最優先に考え、計画的に水泳授業が実施できる民間施設を活用した民間委託方式での水泳授業を令和7年度に小学校4校で検証を行い、併せて、今後の学校プールについての方針を定めていく。	安定的、計画的な授業の実施(2単位時間続けたの授業)を各学年4コマ実施する。学習指導要領に応じた、蕨市としての教育課程を検証し構築する。施設維持管理等の教職員の負担軽減を図る。	◎	令和7年度は小学校4校で民間委託を行った。屋内プールで安定した環境の下、教育課程に沿った水泳授業を行うことができた。施設の維持管理について、教職員の負担も軽減された。
中学校部活動の地域移行	中学校の休日部活動を地域移行するため、民間業者に委託して外部指導者が指導を行う。	第一中陸上部・剣道部、第二中柔道部に水泳部を加え、4つの部活動の土日の活動を外部機関に委託し、地域クラブ活動として行う。年間45回実施。	○	今年度は陸上、柔道、剣道、水泳の4部活で、年間45回の休日部活動(地域クラブ活動)を実施した。実績は、他の部活動を地域展開する上で、大いに参考になるものだった。
不登校児童生徒への支援の充実	不登校児童生徒への相談や居場所づくりを行うなど、支援を充実させる。	不登校児童生徒対策会議の年2回実施及び、教育センター・さわやか相談室での教育相談の充実。令和7年度、スクールカウンセラーの増員及び中学校内e-stationの開設・運営の充実に向けた取り組みを行う。また、教職員の共通理解を図るため、ガイドブックの活用や関係機関との連携を密に図れるよう支援を行う。	◎	市費スクールカウンセラーを配置し、県費のスクールカウンセラーとともに教育相談の充実につなげた。中学校e-stationを開設し、不登校生徒に対して市費教員と支援員が、きめ細かな指導を行った。

令和7年度 課長方針 検証

部課	教育部 生涯学習スポーツ課	課長	桑島 勝彦
----	---------------	----	-------

課の運営方針
<p>○文化活動振興事業 豊かな人間性を養い、郷土文化の振興に寄与することを目的とする。</p> <p>○わらび学校土曜塾推進事業 行政・家庭・地域が連携・協力して子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進し、学習習慣の定着や基礎学力の向上に努める。</p> <p>○音楽によるまちづくり事業 音楽により、まちの賑わいを創出し、市内外にその魅力を積極的に発信することで蕨市のイメージアップを図る。</p> <p>○青少年健全育成の推進 行政・学校・家庭・地域社会が相互に連携し、青少年の健全育成の推進を図る。</p> <p>○スポーツ施設の適正管理・運営 市内スポーツ施設の安全で快適な利用を実現するため、計画的に施設管理、整備を進める。</p> <p>○スポーツ・レクリエーション推進事業 ・市民の健康増進、体力向上に寄与するスポーツ・レクリエーション活動の機会の充実を図る。 ・スポーツ協会(令和3年度に体育協会から改名)やスポーツ推進委員等が連携し、子どもたちへの生涯スポーツ普及と啓発に努める。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度 主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
文化活動推進事業	1. 公募美術展覧会 市民からの絵画・彫刻・工芸・写真・書道等の応募作品を審査し、入選作品の展示と優秀作品には褒賞を行う。 2. 文化活動事業助成 各団体が実施する周年事業等に対し、活動事業資金を助成する。 3. 文化ホールくるる等文化・芸術振興事業助成 文化ホールくるる等を会場として実施する事業等に対し、市が共催し、市民へ、より良質な公演を提供できるよう事業費の一部を助成する。 4. 令和5年秋開庁の新庁舎展示スペースの運営	左欄の事業を柱に文化協会等と連携し、市内における新たな芸術文化に関する人材発掘や市民の主体的な芸術活動を支援し、市民が文化・芸術に親しむ機会の充実・拡充を図る。	◎	1. 公募美術展覧会…11/12～16 作品総数 177点 2. 文化活動事業助成…申請団体に対し活動事業資金を助成した。 3. 文化ホールくるる等文化・芸術振興事業助成… ・女流義太夫 ・親子で楽しむマジックショー ・西方正輝チェロ&トランペット 4. 展示スペース…書道連盟、写真連盟のほか、工芸、智内先生はじめプロ作家の作品の展示をした。

主要事業			令和7年度 主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
放課後子ども教室推進事業	小学生を対象に、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の協力の下、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を推進する。	スタッフの確保に留意しながら、子どもたちに、よりきめ細やかな対応が図れるよう、引き続き事業の展開や運営方法の工夫を図る。	◎	予定に沿って取り組んだ。 ・全学区のべ参加児童 510人 ・ " " のべ開催日数 167回
わらび学校土曜塾推進事業	小学3年生以上を対象として、子どもたちの自主的な学習(宿題・課題など)のサポートを通じて学ぶ楽しさを教え、学力向上や学習習慣の定着を図る。		◎	予定に沿って取り組んだ。 ・全学区のべ参加児童 135人 ・ " " のべ開催日数 150回
音楽によるまちづくり事業	「学校への音楽家派遣」や情報紙の発行、「市民音楽祭」を、ブラッシュアップを重ね、実施する。また、その情報を市内外に発信する。	学校への音楽家派遣は蕨市音楽家協会と連携して継続する。市民音楽祭は本事業の主な柱として、まちの賑わいを創出できる事業となるよう取り組む。また、情報発信についても情報紙や市HP、SNS等の活用により、市内外に発信する。	◎	・音楽家派遣事業…小学校7校に派遣 ・市民音楽祭…8/29、30、31 全14事業 のべ6,538人参加 ・音楽情報誌…年度内2回発行
少年センター事業	市長委嘱の補導員による街頭補導等を実施するとともに、啓発活動も実施する。	青少年の健全育成に寄与するため、「愛のひと声」運動を基本姿勢に、地域による青少年の見守り活動を行う。また、宿場まつりにおいて多くの方に活動を理解していただけるよう啓発活動を行う。	◎	・街頭補導…令和8年2月末現在、63回実施、のべ710人参加
市内スポーツ施設の管理・整備	施設の安全で快適な利用を実現するための管理運営及び施設の改修を行う。	利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう指定管理者との連携強化を図り、サービス向上及び適切な施設改修を実施する。中央プールの室内温水化等への検討を継続する。	◎	予定に沿って取り組んだ。 ここ数年、施設設備の経年劣化や利用マナー等への対応に迫られる機会が増加してきている。
スポーツ・レクリエーション推進事業	スポーツ・レクリエーション団体及びスポーツ推進委員と連携し、既存事業のブラッシュアップや充実、参加者拡大を図る。また、ニュースポーツ等の普及や指導者育成に取り組む。令和5年度からの新規事業「女子サッカー教室」を継続し、安定的な運営に努める。	子どもから高齢者まで参加できる生涯スポーツ・レクリエーションを推進し、市民のニーズや関心抱くような事業に取り組む。また、スポーツ(令和3年度に「体育協会」から改称)協会など関連の団体・組織と連携し、スポーツ体験や指導者育成の機会を図る。	◎	・市民水泳大会…7/21 ・少年スポーツ教室…7/23 ニュースポーツ&ボルダリング ・市民体力テスト…10/13 ・ロードレース大会…12/14 雨天中止 ・他、支部球技大会、支部体育祭等

令和7年度 課長方針 検証

部課	教育部 中央公民館	館長	成田 慎治
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧で公正な対応、親切さ・身近さを感じる公民館運営を行う。 ・市民の学習要求に応える学習機会を提供する。 ・施設等の管理を行い、安全できれいな施設運営を行う。 ・各公民館や他館を含めた職員間での連携や情報の共有に努める。 ・将来を見据えた施設や事業の運営をはじめ、団体との接点などの在り方・方向性について検討を重ねる。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
必要課題や地域課題に係る学習活動	子育て学級、高齢者学級、青少年健全育成事業など各世代の必要課題や要求課題を取り上げて事業を実施する。	・市民や地域を取り巻く環境変化や、学習ニーズに対応した多彩な学びの場の提供 ・公民館活動にこれまで参加してこなかった人たちが参加のきっかけとなるような事業の展開	◎	年間を通じて、さまざまな事業を実施した。世代や地域の必要課題・要求課題に対応した内容を取り入れた。
生涯学習の啓発及び成果発表	公民館で活動する団体が日頃の学習の成果を発表し、団体間の交流を進める機会となる事業の開催	・学習者主体の生涯学習フェスティバルや春のコンサート、作品展示など、方法・形式等を利用団体等と検討して行う。 ・生涯学習推進の有効な方策を全館で研究する。	○	・学習者主体の実行委員会とともに、「生涯学習フェスティバル」や「わらび春のコンサート」を開催することができた。 ・生涯学習推進については、利用団体の団体員の減少などを解決していく1つの方策として団体活動の周知と会員増を目指し市民等への情報提供に注力するため全館の情報が集約された情報誌を作成していく。
学習情報の提供と相談体制の整備	各種媒体を利用した生涯学習情報の発信、館内の生涯学習コーナーによる情報提供	ホームページの随時更新、公民館報の定期発行。生涯学習コーナーの整備・充実。	◎	公民館報「ヒューマンシティわらび」の定期発行やホームページ更新などを随時実施した。
施設等の管理	施設の老朽化に伴う修繕を計画的に行う。経年劣化した設備の改修や整備を行う。	施設の現状を把握しながら、関係課等と連携を図り、計画的な施設改修を行う。	○	施設設備の修繕・更新など、随時対応を行った。
公民館のDXの推進	インターネット予約システム導入に向けた調査・研究	公民館施設をインターネットを介して予約できるシステムの導入(オンライン化)に向け、調査・研究を進める。	△	蕨市DX推進計画(2025～2029年度)アクションプラン事業③「公共施設予約システム」として今後の方針に沿って進めている。

令和7年度 課長方針 検証

部課	教育部 西公民館	館長	荒川 恵子
----	----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・明るく、親切丁寧な対応を心掛け、地域住民から親しまれる公民館運営を行う。 ・誰もが生涯にわたって学び続けることができる環境づくりに努めるとともに、地域性や世代のニーズを捉えた事業の実施に努める。 ・安全で安心して利用できる施設、利便性の高い施設として管理・運営を図る。 ・老人福祉センター松原会館との複合施設移転整備に向けて、関係各所と連携を図り円滑に進める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
子育て学級等 子育て支援事業	「0・1・2ちゃんおしゃべり広場」や「りんごちゃん学級」「親子deリトミック」等の事業を充実させ、保護者同士の交流の場を提供する。	専門的な講師の派遣等により子育てについて学び、悩みや不安を解消する。また、親子のふれあいを深めるとともに、保護者同士の交流の促進と自主的な活動を支援する。	◎	新規開講から2年目となる「親子deリトミック」は子どもの成長を見て取ることができ、連続講座の利点を最大限に活かすことができた。 また、「りんごちゃん学級」では多様な講座を開催することができ、参加者同士の情報交換及び交流を図ることができた。
青少年健全育成事業	ジュニアリーダー会の育成、西小学校3年生一泊キャンプなど、錦町地区青少年健全育成推進委員会と協働して地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。	ジュニアリーダー会の自主的な活動を支援し、青少年の健全育成を図るとともに、社会活動の場の提供を促進する。	◎	西小学校3年生一泊キャンプを開催し、ジュニアリーダー活躍の場を提供する事ができた。また、生涯学習フェスティバル、子どもふれあい祭りの他バスハイクも実施しジュニアリーダー会の活動を支援した。
高齢者学級	65歳以上の人を対象に、健康づくりや趣味・教養、暮らしに関すること等の学びの場を提供する。	講座を通じ、参加者同士の交流を深める場を提供し、健康づくり、生きがいづくりの支援をする。	◎	参加者のニーズにあわせ、健康づくりや認知症予防、プランターファーム等の講座を実施するとともに、参加者同士の交流を深める機会を提供した。 公開講座として開催した落語会には多くの参加者がおり好評だった。
地区生涯学習フェスティバル	利用団体が主体となり、日頃の成果発表や作品展示、体験を通じて活動紹介の場とする。	・各団体、クラブが交流を深めるとともに、地域とのつながりを強め今後の活動に結びつけていく。 ・地域に公民館活動の場を提供し、地域交流を活発化させる。	◎	日頃の成果発表、作品展示の他、プレーパーク、模擬店、フリーマーケット等、各団体が連携協力し事業を行い、市民主体の事業を支援することができた。
施設整備事業	利用者にとって、安全かつ利便性の高い施設として環境を整備する。	施設の修繕及び備品の整備等、安全、安心で使いやすい施設運営を図る。	△	移転を踏まえ必要最低限の修繕とし、利用者の安全面を優先した消防設備等の修繕のみ行った。また、備品については移転先での使用を念頭に置いて整備した。
	老人福祉センター松原会館との複合施設として移転整備を進める。	・実施設計を完了させ、年内に着工する。 ・必要な什器備品等の検討、選定を行う。	◎	実施設計が完了し、予定通り工事も進行している。 管理・施工との定例会議の開催等、工事施工状況の確認及び把握に努めている。 新規備品等については令和8年度当初予算に計上した。

令和7年度 課長方針 検証

部課	教育部 南公民館	館長	萬年 祐次
----	----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・教育振興基本計画・生涯学習推進計画・公民館重点施策及び事業計画等との整合性を図るとともに、地域や各世代のニーズに対応した事業を展開する。 ・職員も利用者も笑顔あふれる公民館を目指し、親切丁寧な対応を心掛ける。 ・施設の安全管理及び各部屋の整理整頓・清潔な環境づくりに注力する。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
家庭教育学級	乳幼児を持つ保護者を対象に、育児に関する学習や遊びなどを通して、親子のふれあいや参加者同士の交流を図る。	子どもの年齢ごとに、1年を通して子育てについての学びの機会を提供する。保育士や保健師などの専門家による相談やアドバイスの機会を設け、育児不安やストレスを解消するとともに親子のふれあいを深め、保護者同士の交流を広げていく。	○	「にこにこONE TWO KIDS!」の名称を、「親子でリトミック」に内容がわかるよう改めて実施した。1月から3月は人気があり、2部制をとっている。
青少年健全育成事業	1年を通じて自然体験学習を実施する他、学校休暇期間を中心に学習系・運動系などの各種講座を展開していく。	さまざまな学習・体験機会を提供することにより、子どもたちの自主性や創造性、協調性の育成を図る。	○	自然学習体験では、収穫野菜を調理することはコロナを機に無くなったが、畑での植え付けや収穫体験活動は充実していた。夏休みの学習バスツアーでは植物園と博物館に行き、楽しみながら学べ、大変好評であった。
高齢者学級	65歳以上の人を対象に、年間を通して参加者同士の交流を交えながら、趣味・教養などを学ぶ。	高齢者に健康、運動、教養、趣味等を学ぶ場を提供することで、生きがいのある生活を送ることを目指す。また、高齢者同士の交流の場となるようにする。	○	高齢者学級は7年度は4月から開催でき、9回開催できた。最終回のアンケートでもおおむね満足との回答であった。申込は定員に達するようになり、昨年度と比較して参加者数は増えている。
生涯学習の啓発及び成果発表	生涯学習フェスティバルと桜のまち南町文化展の開催	フェスティバルは公民館の活動団体を中心に日頃の公民館活動の成果発表の場を提供する。文化展は芸術に親しむ機会の提供を通じて文化的な教養を高め、生涯学習の推進を図る。	○	フェスティバルは喫茶も含め2日間のフル開催したが、二日目の天候が雨で来館者数が伸びなかった。
防災関連事業	コミュニティ委員会や町会、子ども会などと連携し、実践的な防災関連事業を実施する。	防災意識の高い南町の特性を更に伸ばすため、地域と連携して子どもから高齢者まで各種事業を通して地域防災を高めていく。	○	南っ子防災キャンプをこども会により実施、公民館利用者や学童児童向けの消防訓練を2回実施した。また、安全安心課と町会の方々、東公民館、旭町公民館とも合同で避難所運営会議を図上演習形式で実施した。
施設整備事業	利用者にとって利便性が高く、安全で安心して利用できる施設として館内施設を改修、館内環境を整備する。	日頃から館内を確認して、施設・設備の老朽化等に伴う故障箇所等の修理及び備品の入れ替え等を適宜行う。	○	屋上防水工事を11月～1月で実施した。2階団体連絡室の照明をLED化した。

令和7年度 課長方針 検証

部課	教育部 東公民館	館長	岡本 啓太郎
----	----------	----	--------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・創意・笑顔・協働・効率に業務を遂行し、地域住民の親近感と信頼関係を育む公民館とする。 ・地域住民の学習要求に応える事業の質的充実を推進しながら、子どもから高齢者まで各世代に対応した学習をバランスよく実施し、学習機会の拡充を図る。 ・住民をはじめ各種団体等が安全に活動でき、利便性の高い生涯学習施設として環境整備に取り組む。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
家庭教育・子育て学級	乳幼児から就学前の子どもとその父母を対象に、子どもの年代とその親に応じた学習を展開するとともに、親同士の交流を育む。	子育てに関する不安や悩み、育児の楽しみを同世代で共有することで、仲間づくりや親子のふれあいを深め、父母たちの子育てをサポートする。さらに、自主子育て団体の育成に結び付ける。	◎	Mammaひろばや親子リトミック教室、スクスクおひさま広場等、子どもの年代に合わせたママ向けの講座のほか、父親を対象とした「パパの子育て講座(パパNP)」を実施し、子育ての仲間づくりや親子のふれあいを図ることができた。
高齢者学級	65歳以上の高齢者を対象に「プラチナ学園」を開催し、生きがいがづくり、仲間づくりを支援する。	生き生きと生活したいという目標のもと、自身の健康増進に努め、生きがいがづくりや参加者同士の交流を深めることができる講座を開催する。	◎	高齢者に関心の高い健康づくりや歴史講座、防犯講座のほか、コンサート鑑賞、手話体験教室等を実施し、仲間づくりや生きがいがづくり、健康づくりを支援することができた。
塚越地区生涯学習フェスティバル	生涯学習連絡会がフェスティバルの実行委員として主体的に活動し、より良い生涯学習フェスティバルを開催する。	様々な世代の地域住民や各利用団体が参加し、地域交流が活発となるような魅力あるフェスティバルを開催する。	◎	地域の方や公民館利用者等の学習成果発表会や作品展示のほか、地区中学・高校の吹奏楽部による演奏等や塚越クラシックコンサートを実施し、地域活力の向上や生涯学習の推進を図ることができた。
施設等の管理	利用者にとって、安全で利便性の高い施設であるため環境を整備する。	施設・設備の老朽化に伴う各設備の修理及び備品の入れ替え等を計画的に行う。	○	予定どおり1階事務室の空調設備と防犯カメラ(3か所)を設置した。今後も個別施設計画等を勘察しながら、他の会議室等の空調設備や照明のLED化等について予算要求していく。

令和7年度 課長方針 検証

部課	教育部 下蔵公民館	館長	鈴木 啓文
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいつくり、健康づくり、仲間づくりの輪が地域に広がるよう各種団体や地域の人材との連携に努める。 ・地域課題や地域住民のニーズに対応した魅力ある事業の企画運営を図り、多様な学びの機会を提供する。 ・様々な機会を通じて公民館情報の発信を行い、公民館活動や事業の周知に努める。 ・利用者が安心安全な環境で利用できるよう施設管理や整備に努める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
音楽を地域に広める事業	音楽を地域に広める公民館という特色を生かし音楽を広める会との協働により、音楽で心の豊かさや潤いを提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサート事業実施により、市民が気軽に良質な音楽に親しめる機会を提供し、音楽を広める会への支援を行う。 ・童謡抒情歌などの伝統文化の継承や、誰もが気軽に参加できる環境づくりをとおして地域の芸術文化の向上に寄与する。 	◎	「音楽を広める会」と共催でコンサートを2回開催。冬の「ノエルコンサート」、春の「さくらコンサート」では、蔵市ゆかりの若手音楽家が公演。市民に気軽に音楽を楽しんでいただくとともに、若手音楽家の支援にもつながった。
地区生涯学習フェスティバル	利用団体が主体となり、自分達の学習成果の披露と公民館活動の広がりを進める。	利用者や地域住民の主体性を尊重し、地域活動の担い手の育成と公民館利用のきっかけにつなげていくとともに、様々な世代の人々が参加できるイベントの企画や効果的な地域交流の推進方法について研究を進める。	◎	利用団体が中心となって実行委員会を組織して企画・運営を行った。事業内では利用団体の舞台発表や作品展示、模擬店、小学生対象講座、乳幼児対象講座、タップダンスショー等を実施し、前年度と同規模の参加があった。各イベントを通じて利用団体の学習成果発表や、団体間の交流、地域の市民による交流を進めることができた。
家庭教育学級	0歳児～3歳児を対象とした事業を開催し、乳幼児期の発達や保護者同士の交流を支援する。	参加者の自主的な活動を促し、公民館活動から学校、さらには地域活動への広がりを支援する。また保護者同士の交流をとおして子育ての孤立感及び負担の解消につなげる。	◎	年齢別の講座を3コース開催し、親子のふれあいや、子ども同士、親同士の交流を進めることができた。一部開催回(パフォーマンスショー、新春コンサート)は公開講座とし、普段参加していない親子も気軽に参加できるようにした。
高齢者学級	高齢者の学習・健康長寿を目的とした事業。仲間づくりの機会と生きがいつくりを支援する。	公民館利用者のニーズの把握に努め、関係機関との連携を図りながら、健康長寿をめざした講座や高齢者が抱える課題の解決に資する講座を企画する。	◎	「楽しく学んでいきいきライフ」をテーマに、年間を通じて9回の講座を企画。押し花カレンダーなどの創作活動、歌唱講座、体操や筋トレなどの健康講座、スマホや防犯などの現代的課題をテーマにした講座など、参加者の要望を聞きながら多彩な内容で開催した。毎年参加している人も多く利用者満足度の高い事業となっている。
施設管理	市の公共施設マネジメントの方向性に添って、安全安心で使いやすい施設として環境整備を図る。	予算化された改修事業を適切に実施していくとともに、利用者が安全で気持ちよく活動できるよう計画的な修繕や備品の整備を図り、館内環境の美化に努める。	◎	防犯カメラ設置、定期点検で不具合のあった避難口誘導灯や非常用照明の交換をはじめ、必要箇所の修繕を実施した。また、日ごろから館内外の清掃や備品・掲示物などの整理を行い、環境の美化に努めた。

令和7年度 課長方針 検証

部課	教育部 北町公民館	館長	瀬口 正浩
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ一同親切・丁寧な対応を心掛け、地域に親しまれる公民館づくりを目指す。 ・子どもから高齢者まで、各世代のニーズに合った事業を展開する。 ・地域の要望に耳を傾けながら、課題等の解決に向け常に最善の方法を考えながら積極的に取り組む。 ・誰もが気軽に利用できるよう、安全で明るくきれいな公民館としての環境整備に努める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証		
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容	
家庭教育・子育て学級	体育館・児童館との複合施設である特性を活かし、連携を図りながら、市民の関心が高い「健康づくり」や「子育て支援」をはじめとした多様なプログラムを組み、質の高い公民館事業を提供する。	育児中の方が安心して学習や情報交換ができる場を提供する。	◎	市民体育館・北町児童館と連携し、一部事業は共催することで、市民の関心が高い「健康づくり」や「子育て支援」をはじめとした多様なプログラムを展開することができた。	「ハロ北会」、「おしゃべりSALON」「育ちあいカフェ」等、子育て中の母親を対象に、専門家による子育てについての悩み相談や育児に関する学習、親同士の情報交換の場の提供等を行った。
青少年事業		小学生を対象に、体力向上やものづくり、身近な自然を実感できるような場を提供する。	◎		・「きたまちキッズスポーツクラブ」「フットサル教室」では体育館やスポーツ指導者と連携し、専門的かつ多彩な体力向上プログラムを取り入れ、小学生に対し体力向上の機会を提供することができた。 ・「わらびりんごでケーキをつくろう」を開催し、身近な場所で収穫した作物に触れる機会を提供することができた。
シニア世代・一般対象事業		シニア世代・一般を対象に、健康づくりや教養に関する講座を実施する。	◎		「絵手紙体験教室」を日曜日に開催し、平日に公民館を利用できない人も参加できる学びの場を提供することができた。
高齢者対象事業		高齢者を対象に、健康づくりや趣味・教養など、多様なニーズに合わせた年間プログラムを実施する。	◎		「いきいき学級」を開催し、健康・音楽・工芸・介護予防等、高齢者の生きがいと健康づくりのきっかけとなるような様々なメニューの講座を実施した。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
施設整備事業	施設の老朽箇所の修繕及び備品等の入れ替え等を適宜実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者にとって安全かつ利便性の高い施設となるよう、環境整備を図る。 ・学習用Wi-Fi環境の活用 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全の確保及び利便性の向上のため、噴水埋戻し修繕や、北プラザタイルの修繕等、施設の状況を勘案し修繕を行った。 ・学習用Wi-Fi機器を設置し、利用者の利便性向上につとめた。

令和7年度 課長方針 検証

部課	教育部 図書館	館長	佐藤 昌史
----	---------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・駅前図書館についての情報収集と必要な機能についての検討をおこなう。 ・資料の収集・整理・保存及び提供を充実し、生活に役立つ図書館を目指す。 ・イベントの実施やホームページを通して、図書館のサービスを周知し利用者の拡大に努める。 ・「第3次蕨市子ども読書活動推進計画」に基づき、関係機関と連携し取組を行うことで、子どもたちの読書の習慣化に努める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
駅前図書館についての情報収集と必要な機能についての検討	新図書館の竣工が令和9年度の予定となっており、図書館移転を円滑に実施するための準備を進める。あわせて、必要な機能の検討を行い、魅力ある施設づくりを進める。	駅前の図書館となることから、利用者層や新たに必要な機能が変化するため、情報収集や必要な機能について、再開発の進捗に合わせて、関係各所と連携しながら検討を進める。	◎	新図書館の整備に向けて、要点となる事項の方針を定め広く周知するものとして「蕨市新図書館基本方針」を策定した。あわせて、関係各所や設計業者と打ち合わせを重ね、情報共有を図った。
子ども読書活動の推進	「第3次蕨市子ども読書活動推進計画」に基づき、関係機関と連携しつつ、各取組を実施していく。	児童書を充実させ、関係機関と連携して子ども向け事業等を実施することで、子どもの読書が習慣化されるよう努める。	◎	定例のお話し会や映画会を開催したほか、「第3次蕨市子ども読書活動推進計画」の進捗状況調査を実施し、各所の状況の把握に努めた。
「わたしのよんだ本～読書・よみきかせ手帳～」の作成・配布	乳幼児への読み聞かせを推進することを目的に、保健センターで実施する4か月児健診時に「わたしのよんだ本～読書・よみきかせ手帳～」を配布する。	乳幼児への読み聞かせは、情操教育として子どもの発達に良い影響を与えると共に、親子で同じ時を過ごす、同じ作品を楽しむことによって親子の絆を深める一助とする。	◎	読み聞かせ手帳の配布については、4か月児健診時に加えて、3歳6か月児健診時にも実施した。あわせて、図書館のカウンターでも配布することで、手帳の普及を推進した。
セカンドブック事業	「ブックスタート」のフォローアップ事業として、保健センターで実施する3歳6か月児健診時に絵本を1冊贈呈し、本の読み聞かせの習慣化を図る。	子どもたちが読書の楽しさを知り、様々な物語を体験することによって心の成長を促し、読書習慣を身に付けられるようにする。	◎	3歳6か月児健診時にセカンドブックの配布を行った。また、新年度の配布に向けて再度、配布絵本のアンケートを実施した。
利用者拡大に向けた取り組み	図書館サービス向上等により、利用者の拡大を図る。また、開館日数の増加等について引き続き研究する。	令和9年度に移転予定の新図書館においては、開館日数の増加や平日の開館時間の延長を目標に、引き続き、更なる利用者拡大に向けた取り組みにつき、研究していく。	○	新図書館移転時には開館日数の増加や平日の開館時間を延長する見込みであり、今後も引き続き研究していく。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
わらび電子図書館の充実	利用者が図書館に来館することなく、24時間いつでもどこでも貸し出し・返却ができる「わらび電子図書館」のサービスを継続する。	需用が高い「児童読み放題パック」を中心に更なる電子書籍のラインナップを増やしていくことでサービスの充実を図る。	◎	児童読み放題パックを更新したほか、12月1日より同時アクセスが可能な旅の情報誌「るるぶ」の電子版25冊を導入し、学校での朝読書や旅先などで利用できるといった、紙媒体の図書ではできないサービスを展開した。
施設的环境整備	安全で快適にご利用いただける施設として計画的に整備を行う。	適切に修繕等を行い、安全で快適にご利用いただける施設を維持する。	◎	適宜、必要な点検や修繕等を実施した。 (老朽化給水管布設替え修繕、図書館2階女子トイレ便器修繕ほか)
西公民館移転に伴う錦町分館の再整備	西公民館の移転にあわせて、錦町分館を新しい西公民館内に再整備する。	西公民館と連携して、必要な移転作業を滞りなく進めていく。	◎	令和9年度の移転に向けて、返却ボックスをはじめ、各種必要な備品の検討を行った。
新図書館システムの導入	図書館利用券とマイナンバーカード、及びスマートフォンアプリLINEと連携できるシステムとすることで、利用者の利便性向上に寄与する。	令和7年10月から新図書館システムで運営が開始できるよう、導入に向けた業者選定等の必要な手続きを滞りなく進めていく。	◎	令和7年9月23日より、新図書館システムの運用を開始。マイナンバーカードやLINE、ICカードと連携できるようになったほか、読書手帳に貼るシールを出力できるラベルプリンターを導入したシール式読書記録サービスを開始した。
埼玉県立蕨高等学校及び私立武南高等学校との連携事業の継続	YA世代の読書活動推進の一環として、現役高校生の目線で本を選び、同世代に向けた推薦文を添えることによって、より多くの中高生の関心を得て本に触れてもらうことを目的として、蕨高校図書委員、及び私立武南高校図書委員・図書部おすすめ本コーナーを設ける。	引き続き、蕨高校及び武南高校との連携を維持しつつ、現役高校生の目線でおすすめ本を紹介する当企画を継続していくことで、YA世代の読書を促す一助とする。あわせて、他の学校との連携や中学生ワーキングウィーク等との連携も深めることで、より幅広い世代へ読書の推進を図っていく。	◎	蕨高校との連携は令和6年度をもって一旦終了となった。代替として、令和7年度より新たに武南中学校との連携を開始。武南高校とあわせて10月8日と2月7日におすすめ本コーナーの様態替えを実施した。

令和7年度 課長方針 検証

部課	教育部 視聴覚ライブラリー	館長	佐藤 昌史
----	---------------	----	-------

課の運営方針
<p>・大人向けの「図書館映画会」や子ども向けの「日曜子ども映画会」など、視聴覚資料を活用したイベントを開催する。</p> <p>・視聴覚ライブラリーの資料の利用促進を図る。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
自主事業の開催	図書館映画会、及び日曜子ども映画会等の開催	「日曜子ども映画会」等の開催により、楽しんだり学んだりできる視聴覚資料を紹介し、図書館に興味を持ってもらう。	◎	子ども向けの「日曜子ども映画会」を年7回、大人の方向けの「図書館映画会」を年5回開催した。今後も、館内上映が可能な魅力あるDVDを購入していき、映画会を充実させていく。
視聴覚資料の充実	DVD・CDを中心に教育的な内容や質の高い資料を収集し充実を図る。	視聴覚資料の充実を図り、利用を促進する。	◎	ビデオテープは劣化等の理由からほぼ全てを除籍し、DVD化している資料を購入した。また、カセットテープは、利用実績の乏しい資料やCD化している資料について除籍し、デジタル媒体への移行を図った。

令和7年度 課長方針 検証

部課	教育部 歴史民俗資料館	館長	小川 有紀子
----	-------------	----	--------

課の運営方針
<p>・蕨市の歴史・文化に関する資料の収集・調査・研究を行い、周知・活用に努める。</p> <p>・調査・研究を実施した資料のうち、特に貴重と考えられる資料については文化財として指定し、保存・活用を図る。</p> <p>・特色ある展覧会や体験講座を企画・開催することにより、幅広い年齢層の市民の方の来館を促し、蕨市の歴史・文化に触れる機会の充実を図る。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
文化財の保存と活用	地域資料の調査・研究を行い、特に貴重と考えられる資料を文化財として指定する。	貴重資料の文化財指定。研究成果については「研究紀要」で報告し、周知・活用に努める。	◎	令和6年度新たに市文化財に指定された旧定正寺観音堂奉納額二面の調査報告を始め、蕨の歴史に関する研究論文や史料紹介をまとめた「研究紀要」第23号を発刊した。
特別展等開催事業	蕨市や近隣市にゆかりのある芸術家の個展及び蕨市の歴史・文化を紹介する特別展等の展覧会を開催する。	特色ある展覧会を開催し、幅広い年齢層の市民の方の来館を促し、蕨市の歴史・文化・芸術に触れる機会の充実を図る。	◎	・中山道の宿場町として栄えた蕨宿の景観に焦点を当て、江戸時代に作成された絵図や古文書を展示した「中山道蕨宿のランドスケープ」を開催した。 ・蕨市在住の織作家、藤崎仁子氏の染め物や手織物作品約100点を展示したオータムギャラリー2025「蕨の彩(いろ)-染め・織る-」を開催した。
平和事業	蕨市が空襲被害を被った経緯を踏まえ、開館以来の継続事業として「平和祈念展」を開催する。	戦争の事実・記憶を風化させることなく、次世代に戦争の悲劇と平和の尊さを伝える。	◎	戦後80年・蕨市平和都市宣言40周年の節目として、平和の大切さを改めて考える機会につなげようと、日清戦争から太平洋戦争終戦までの資料や写真パネル約100点を展示した「蕨町と戦争1894-1945」を開催した。
体験講座事業	夏・冬・春の年3回、小学校児童を対象とした体験講座を開催する。	魅力ある講座を企画し、子どもたちに芸術や蕨の歴史に触れる機会の充実に努める。	◎	毎年、夏・冬・春に開催している織物やタイルアート、食品サンプル作りなどの講座に加え、子どもたちに楽しく歴史に触れてもらおうと、今年度より古文書や浮世絵を学ぶ歴史講座を開催した。
施設の維持管理	施設の適切な維持管理・整備を図る。	来館者に安全で快適な環境を提供できるよう施設の現状の把握に努め、計画的な修繕・整備を行う。	○	施設設備の修繕・更新など、随時対応を行ったほか、洋式化未実施のトイレの改修を行い、館内のトイレを洋式化率100%とすることができた。

令和7年度 課長方針 検証

部課	教育部 学校給食センター	所長	石丸 岳広
----	--------------	----	-------

課の運営方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスのとれた豊かな学校給食を提供する。 ・衛生管理の徹底した調理環境のもと、安全な食材を使用し、学校給食に対する安心を確保する。 ・献立内容の充実を図るとともに、学校給食を生きた教材として活用した食育を推進する。 ・計画的に調理施設・設備の整備を進める。 ・第2子以降の学校給食費無償化及び物価高騰に伴う学校給食費の負担軽減の実施 	

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
施設・設備の管理・整備	定期的な保守点検や修繕等により調理機器類の機能を維持するとともに、施設・設備の老朽化を踏まえた計画的な整備を行う。	安全・衛生的な調理施設で、学校給食を安定的に提供する。令和7年度は、給排水施設設備改修工事や調理室塗床工事等を行う。	○	予算の範囲内で、緊急性や給食提供に対する影響度等の優先順位を考慮した施設・設備の整備・修繕が概ねできた。
安全衛生管理体制の整備	学校給食衛生管理基準に示された施設及び調理業務等の運用方法を遵守する。	衛生管理体制の改善や更なる向上に取り組み、衛生管理の徹底を図る。	○	異物混入対策や衛生管理基準に基づいた衛生管理の徹底が図られている。
食物アレルギー対応	食物アレルギーの原因食品を示した献立表を家庭に配布するなどの食物アレルギー対応を実施する。	学校と連携し、食物アレルギーを有する児童・生徒に対して、安全に給食を摂取できるよう情報提供していく。	◎	新規にアレルギー対応を行う児童生徒については、国が示した「食物アレルギー対応指針」に基づき、保護者・学校・給食センターの3者で面談を行いアレルギーの確認や緊急時の対応など話し合いを行っている。対象となる児童生徒には詳細な献立表を作成し対応している。
食育の推進	栄養教諭等が学校と連携し、食育授業を行う。また、献立募集「学校給食のメニュー作りにチャレンジ！」を実施する。	児童・生徒が食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活が実践できるよう、食に関する指導の充実に努める。	◎	各校と日程調整を行い対象学年ごとの食に関する指導を行っている。
	地場産物を活用した給食を提供する。また、地元農家の方から地産地消について学ぶ「ふれあい交流給食」を開催する。	地産地消を推進するとともに、地元の食材に対する理解を深め、食べ物や生産者に感謝する気持ちを育てる。	△	・野菜が高温被害のため不作となったが、その中でも農産物直売所のご協力で地場産野菜を給食で使用することができた。 ・交流給食は、生産者との日程調整が取れず未実施。
給食費の負担軽減	15歳以下の児童生徒を養育している世帯のうち2人目以降の給食費について、償還払いにより全額補助し、実質無償化。	子育て支援対策の一環として、該当家庭の経済的負担の軽減を図る。	◎	令和7年7月～11月末まで申請を受け付けた。(期日を過ぎた後の申請も当人から事情を聴取し受け付けている) 令和8年2月19日時点で、小学校981名、中学校71名分の申請があった。
	物価高騰により不足が見込まれる給食費の食材価格高騰相当分を市が補助。	保護者の追加負担を生じさせないよう負担軽減対策を図る。	◎	「物価高騰に伴う学校給食費の負担軽減」のための予算措置として、当初予算に3,231万2千円を計上。